

風しん発生状況及び 対策について

(2019.9.4)

千葉県健康福祉部疾病対策課

風しんについて

- **症状**：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とする。

症状が出現しない場合(無症状病原体保有者)も15~30%程度存在すると言われている。

風しんに感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、風しんウイルス感染が胎児におよび、先天異常を含む様々な症状を呈する先天性風しん症候群(CRS)が出現することがある。

先天性風しん症候群 (CRS:congenital rubella infection)

- 先天性心疾患、難聴、白内障が3大症状である。
- 母親が感染した妊娠月別のCRSの発生頻度は、妊娠1カ月で50%以上、2カ月で35%、3カ月で18%、4カ月で8%程度と言われている。

- **潜伏期間**：14~21日間

- **感染経路**：飛沫感染。(発疹出現前1週間~発疹出現後1週間程度感染力がある)

- **治療・予防**：対症療法のみ。予防にはワクチンが有効。

- **届出のために必要な要件**：

①検査診断例：届出に必要な臨床症状の1つ以上を満たし、かつ、届出に必要な病原体診断のいずれかを満たすもの。

②臨床診断例：届出に必要な臨床症状の3つすべてを満たすもの。

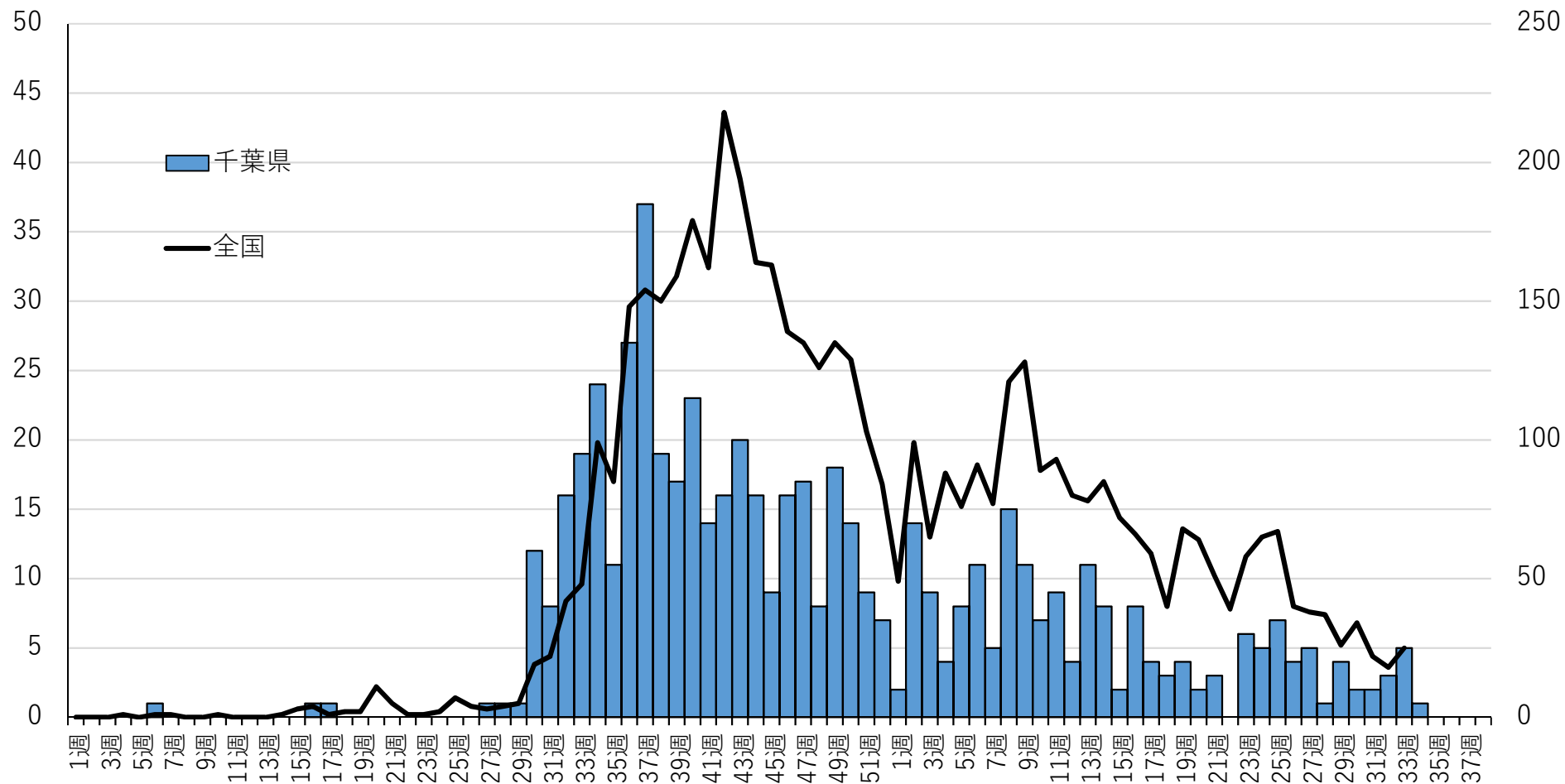
- 発熱
- リンパ節腫脹
- 全身性の小紅斑や紅色丘疹

届出に必要な臨床症状

千葉県 風しん届出状況(2019.2.24現在)

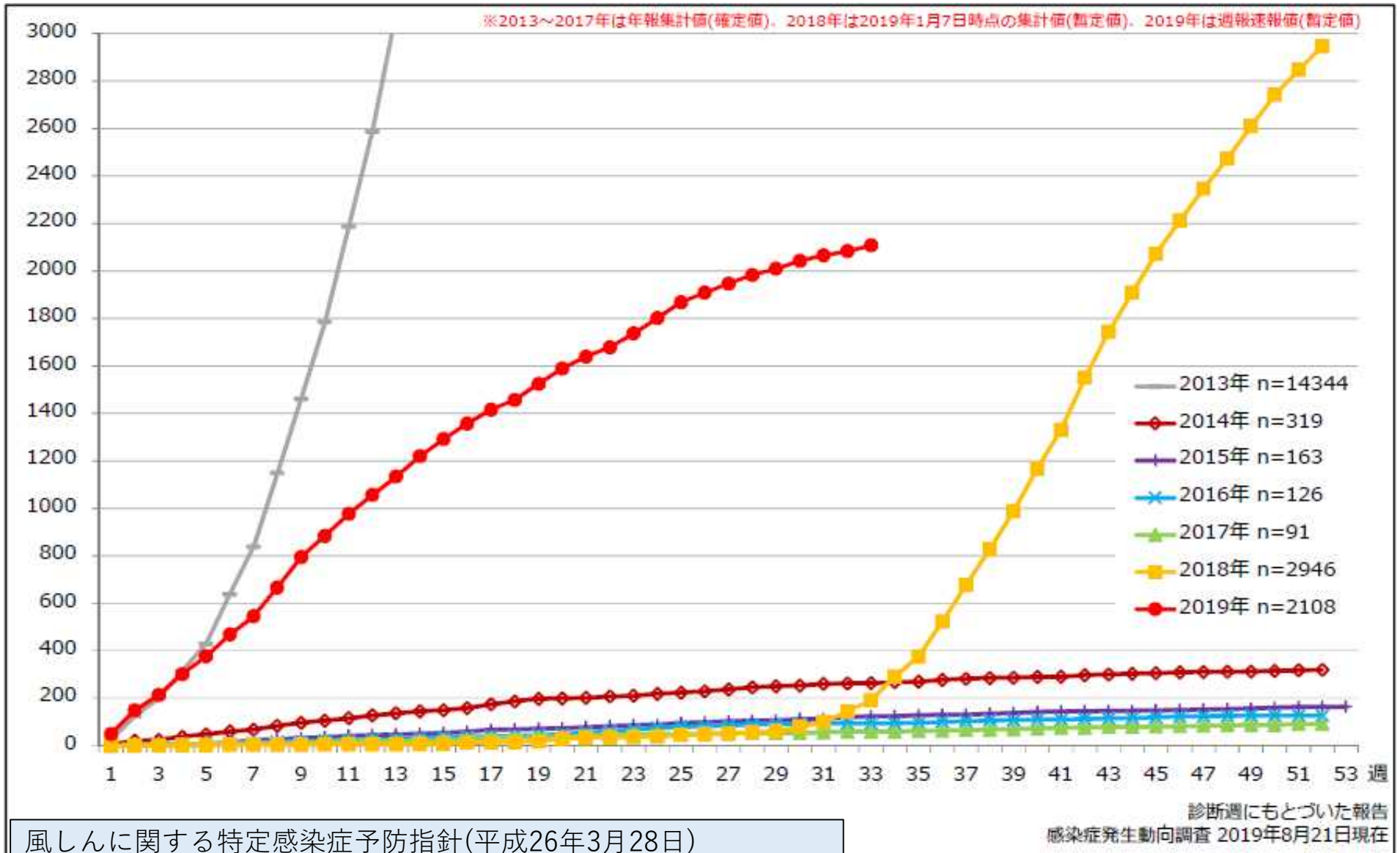
千葉県 (人)

全国 (人)



2018年は7月頃から届出数が増加。直近では、2019年第22週（5月27日～6月2日）を除き毎週届出があるが、流行初期と比べて減少傾向にある。

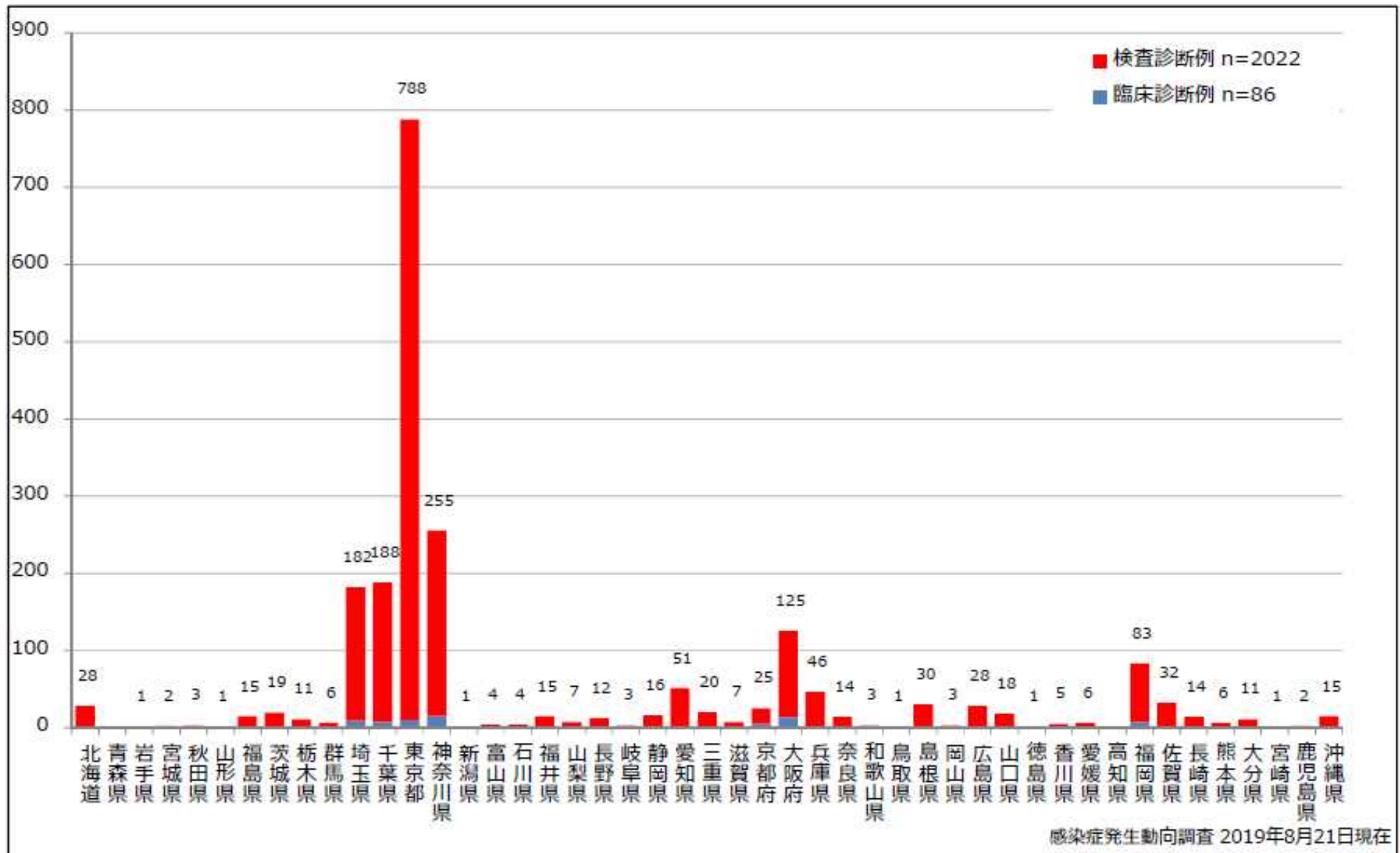
全国 風しん届出状況



風しんに関する特定感染症予防指針(平成26年3月28日)
「早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成することを目標とする。」

出典：国立感染症研究所 感染症疫学センター

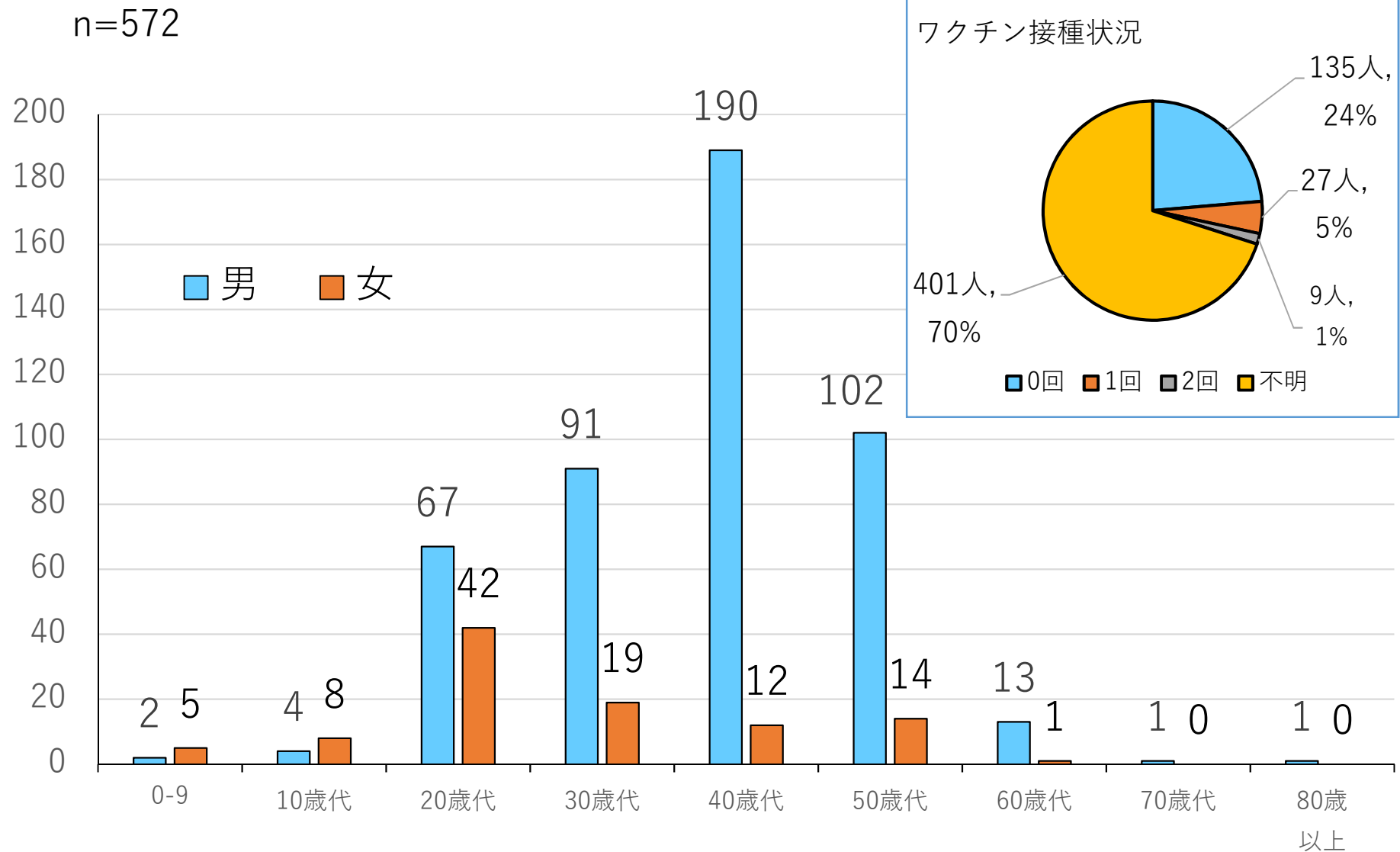
2019年 都道府県別風しん発生数



全国的に発生しているが、特に6都府県において患者発生数が増加。

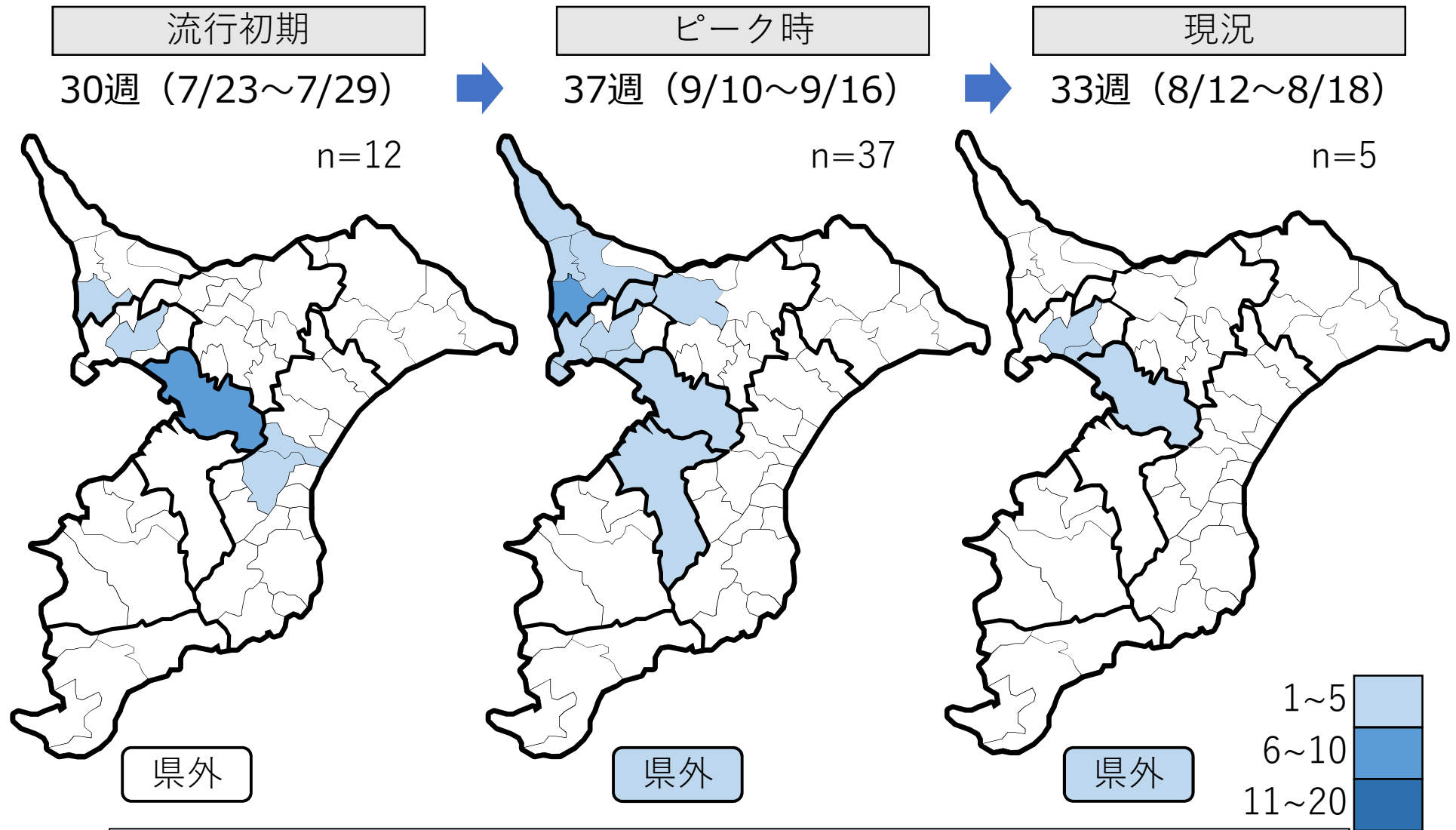
出典：国立感染症研究所 感染症疫学センター

2018/19 千葉県年齢別風しん届出状況(2019.8.25現在)



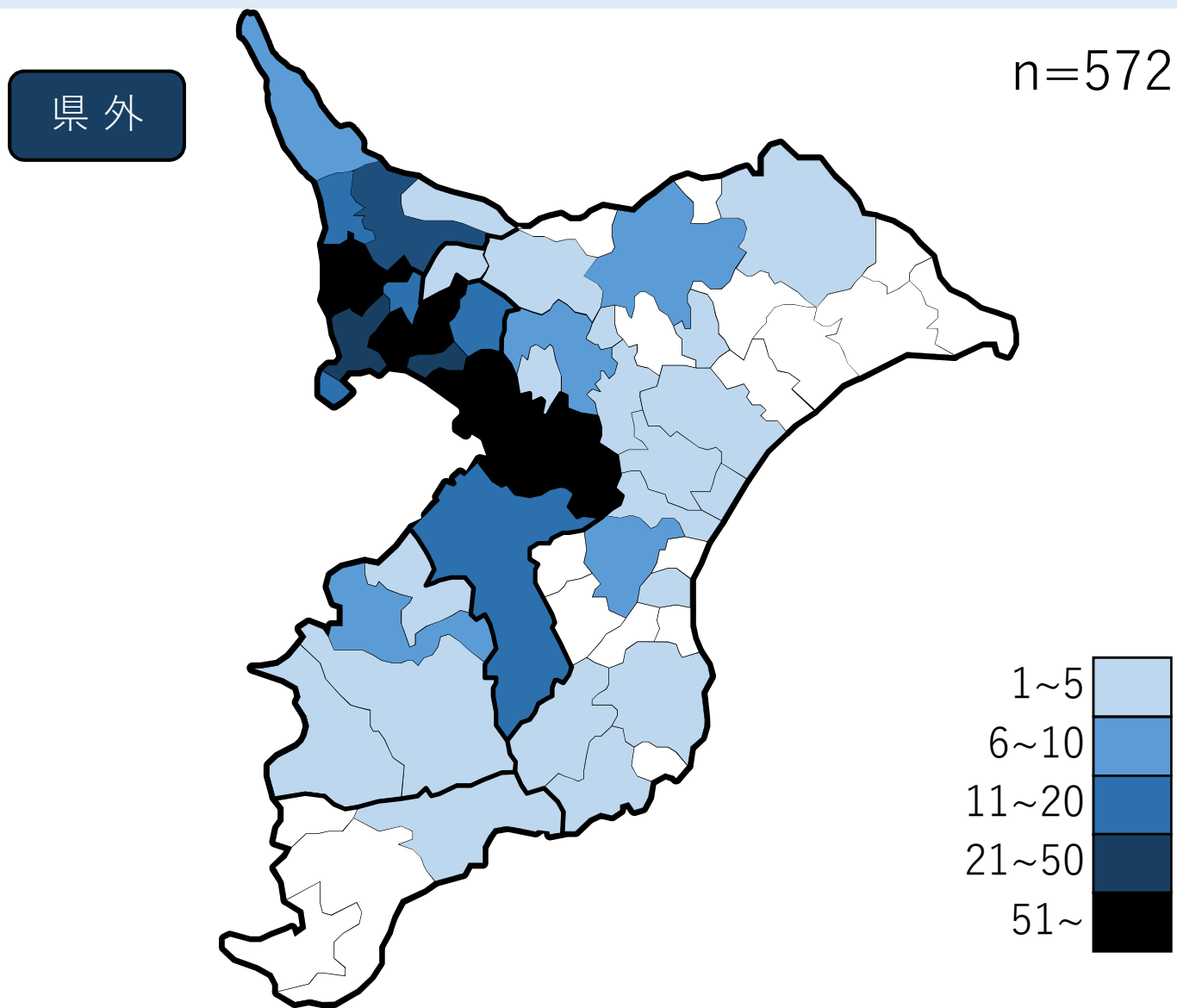
患者の大半が20歳代～50歳代の男性。患者の94%がワクチン接種「無し」または「不明」であった。
 なお、追加的対策の対象者（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性）は、**572名中 298名（52%）**。

2018年第30週～2019年第33週 千葉県 患者住所地別 風しん届出状況



流行初期は千葉市を中心に発生し、週当たり報告数が最大であった37週では、東葛北部から市原市にかけて患者が発生。直近の第33週では、東葛南部等にて発生している。

2018第1週～2019年第34週 千葉県 患者住所地別 風しん届出状況



東葛北部・東葛南部を中心に患者が集中。千葉市・船橋市・松戸市では患者が50名を超えた。

風しん追加的対策の実施方法について

【実施方法】

- ① 抗体検査の受検目標の達成に計画的に取り組むため、**3か年計画で、段階的に行う。**

※ 事業開始当初に受検希望者が集中した場合、短期的な供給不足が生じ、医療機関や対象者に混乱が生じる懸念がある。

- ② **1年目（～2020年3月）は、まずは昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれ（約646万人）の男性に対して、市町村から受診券を送付する。**

（参考）対象世代の選定の考え方

追加的対策の対象で現在39歳から56歳（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）の中でも、若い年齢の方ほど患者数が多く、特に現在39～45歳（昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれ）（約646万人）の男性の患者数が**対象世代の患者数の半数以上を占める。**

- ③ なお、1年目に市町村から受診券を送付しない**昭和37年4月2日～昭和47年4月1日生まれの男性についても**、市町村に希望すれば、受診券を発行し**抗体検査を受検できる**こととする。

風しんの抗体検査、定期接種の実施の仕組み（イメージ）

抗体検査、定期接種の実施の工夫について

- 新たに定期接種の対象となる現在39～56歳の男性(1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれ)への抗体検査・予防接種を促進するため、以下の通り、実施方法を最大限工夫することを検討。
 - ① 居住する市区町村以外の医療機関においても抗体検査・予防接種を実施（実施パターン①）
 - ② 市町村国保加入者（自営業者等）について、特定健診の血液検査の項目に風しん抗体検査を加えて実施（実施パターン②）
 - ③ 健康保険等加入者（正規雇用労働者等）について、事業所健診の血液検査の項目に風しん抗体検査を加えて実施（実施パターン③）
 - ④ 都道府県、医師会等と協力し、休日・夜間の抗体検査・予防接種の実施
- 加えて、事業者団体（経団連、商工会議所等）、保険者団体等と連携し、普及啓発を徹底。

集合契約で実施

実施パターン①

○ 居住する市区町村内外の医療機関（※）において抗体検査・予防接種を実施

※ 集合契約を結んだ医療機関



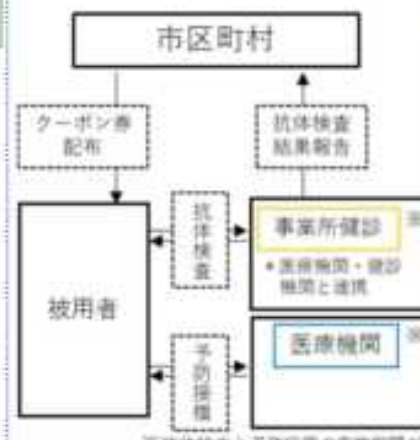
実施パターン②

○ 市町村国保加入者に対しては、特定健診の機会を活用
○ 生活保護受給者（被用者保険に加入している者を除く）に対しては、健康増進法に基づく健診の機会を活用



実施パターン③

○ 被用者に対しては、事業所健診等の機会を活用



集合契約によらず実施

○ 居住する市区町村内の医療機関（※）において抗体検査・予防接種を実施

※ 居住する市区町村と契約を結んだ医療機関であれば実施可能とする方針



追加的対策に係る啓発資材の作成

○リーフレット配付

- ・ 8月 企業関係 6 団体、労基署
健康福祉センター（職域連携会議）
- ・ 9月 産業医研修会

2019年度～2021年度 予定

知らないと思う行政のお得情報・2019年度版 **あなたの風しん対策 ナビ**

受けたい！もったいない！クーポン券を無駄にしないで！

1. 今年度のターゲットはあなたです
2019年度のクーポン券送付対象は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
2. あなたは風しんに対する免疫は大丈夫ですか？
上記1.の男性は、風しんの公約予防接種の機会がなく、風しん抗体価低率の低い世代です。風しんは、一度かかったり予防接種を受けることで体に免疫がつくと、風しんウイルスからの防御反応が建立します。しかし、免疫がつけられているかは、抗体検査で抗体価（免疫力）を調べなければわかりません。
3. 風しんの流行は繰り返される
風しんが全国流行になった2008年以降、2018年に流行があり、昨年夏からまた流行がみられています。
4. 風しん抗体検査＆予防接種のクーポン券は届きましたか？
対象者の方には、お住まいの市町村から無料クーポン券が配布されます。
※2019年度の対象者には、7月末までには県内すべての市町村で発送される予定です。
5. クーポン券を利用するメリット
 - 【検査のメリット】
 - ・検査と予防接種の費用（1万6千円程度）が無料です。
 - ・今や風しんの予防接種は風しん・風しん融合ワクチン（風しんと風しんの両方から防御できるチャンスです。
 - ・風しんは一度かかると抗体が長くつらいため。
 - 【接種のメリット】
 - ・接種後の検疫管理に役立つ
 - ・風しんや麻疹の集団発生を回避できる
 - ・職場の妊婦さん（胎児）を「先天性風しん症候群」から守る
6. さあ！計画を立てましょう！
クーポン券の活用方法は、冊子のご案内を参照し、計画的に受けていただくのがおすすめです。
あなたの行動が、あなた自身と妊婦さんと赤ちゃんを守り、さらに今後の風しんの流行を抑えることができます。

千葉県健康福祉部疾病対策課

お願い4 抗体検査の受け方は次の2パターンあります。併せて実施される場合の同時受検！にご支援をお願いします。

◆建設以外の機会に対象者が個別に受けるには 建設の機会が活用できない場合は、お申し込みいただき、各個人でご都合の良い実施医療機関をお調べいただき、ご受診をお願いします。その際には、対象の方々には、下記のメリットをお伝えいただき、多くの方が、この機会を活用することの多いようご配慮くださいますようお願いいたします。

実施パターンの

○居住する市区町村内外の医療機関（※）において抗体検査・予防接種を実施
※ 貴事業所を結んだ医療機関

市区町村
クーポン券配布
抗体検査結果報告
居住する市区町村内外の医療機関
※ 貴事業所により実施

は声かけをお願いします

・身近な妊婦さん（これから妊婦さんになる可能性の女性風しん症候群）の発生予防に役立ちます。（はしか）にかかるリスクを下げます。（予防接種は風しんの3年間がチャンスです。（クーポン券の期限は原則、抗体検査をご検討ください。

※クーポン券が使える受診医療機関・建設課は厚生労働省のホームページでご確認ください（画面右下、QRコードからご参照ください）
※抗体検査は、貴事業所で行っている定期健康診断等と同時にできる場合があります。

お願い4 ○○○ 貴店のご支援ください。

事業者（従業員の健康管理部門責任者）の皆様へ
働く世代の男性が風しんの定期予防接種の対象になりました
建設の機会等を利用した抗体検査と予防接種の機会の確保にご協力をお願いします！

2022年3月31日までの3年間に限り、
風しん抗体検査・予防接種を公費で受けられます。

▶ 風しんの予防接種は、現在、予防接種法に基づき公約で行われています。しかし、公約な接種を受けなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性は、**抗体検査が家の世代に比べて安く(約80%)なっています。**

▶ そのため、2022年3月31日までの期間に限り、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性を風しんの定期接種の対象者とし、クーポン券をお届けします。
※予防接種法（昭和23年法律第68号）第5条第1項の規定に基づく定期予防接種
対象者の方には、**お届けするクーポン券を利用して、まず抗体検査を受けていただき**、抗体検査の結果、十分な量の抗体がない方は、定期接種の対象となります。

お願い1 対象者の確認
昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性が今回の抗体検査と定期接種の対象者となります。
そのうち、2019年度クーポン券送付対象者は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日の間の誕生日の方です。まず、貴事業所で上記の該当者についてご確認をお願いします。

お願い2 クーポン券の確認
対象者には、下記のような案内とともにクーポン券が届きます。千葉県内の市町村では、隔次7月までにクーポン券の発送が完了する予定です。対象者へクーポン券が届いていないかお声をかけをお願いします。

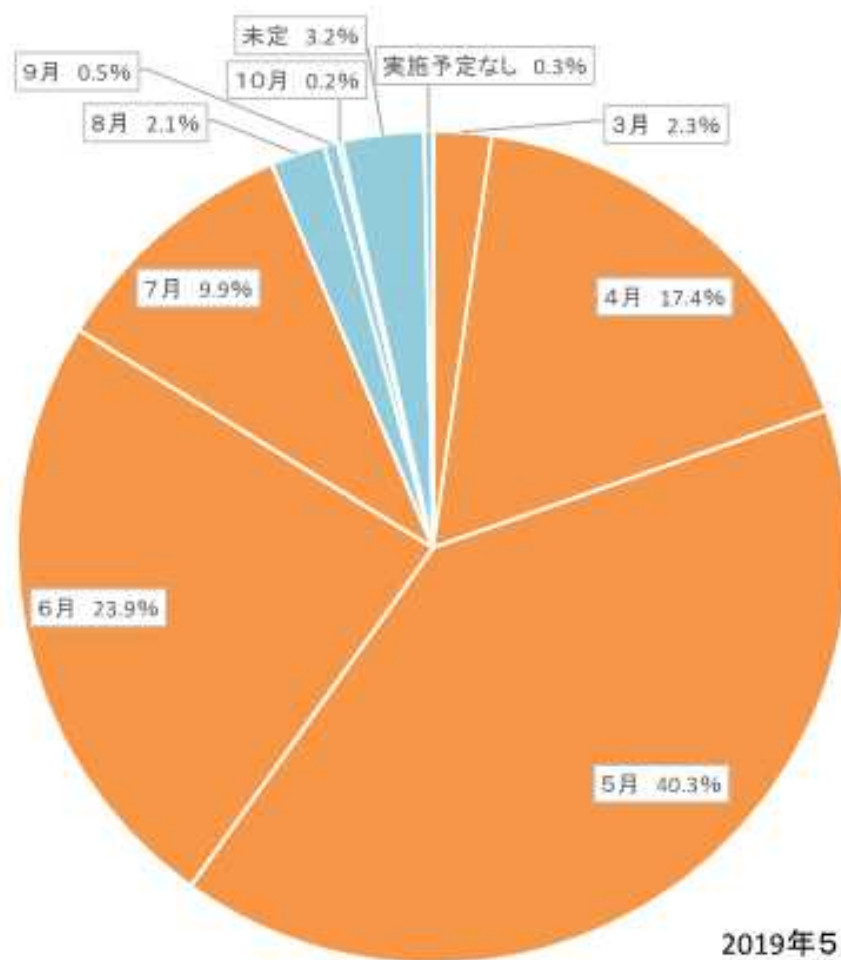
お願い3 本事業の流れの確認
～抗体検査・予防接種までの流れ～
クーポン券が届きます
抗体検査（※本人確認書類を必ず持参）
抗体検査の結果が返ります
（※血液検査の結果を本人の手で行くこともあります）
抗体なし
抗体あり
予防接種を受けましょう
（※本人・本人を誘導し、抗体検査結果報告書が必要）
★予防接種は抗体価が高い方のみ対象

クーポン券の活用方法

期間は3年間で、1～

【参考】 風しんに関する追加的対策の進捗状況（全国）

各市区町村の受診券配布（予定）状況

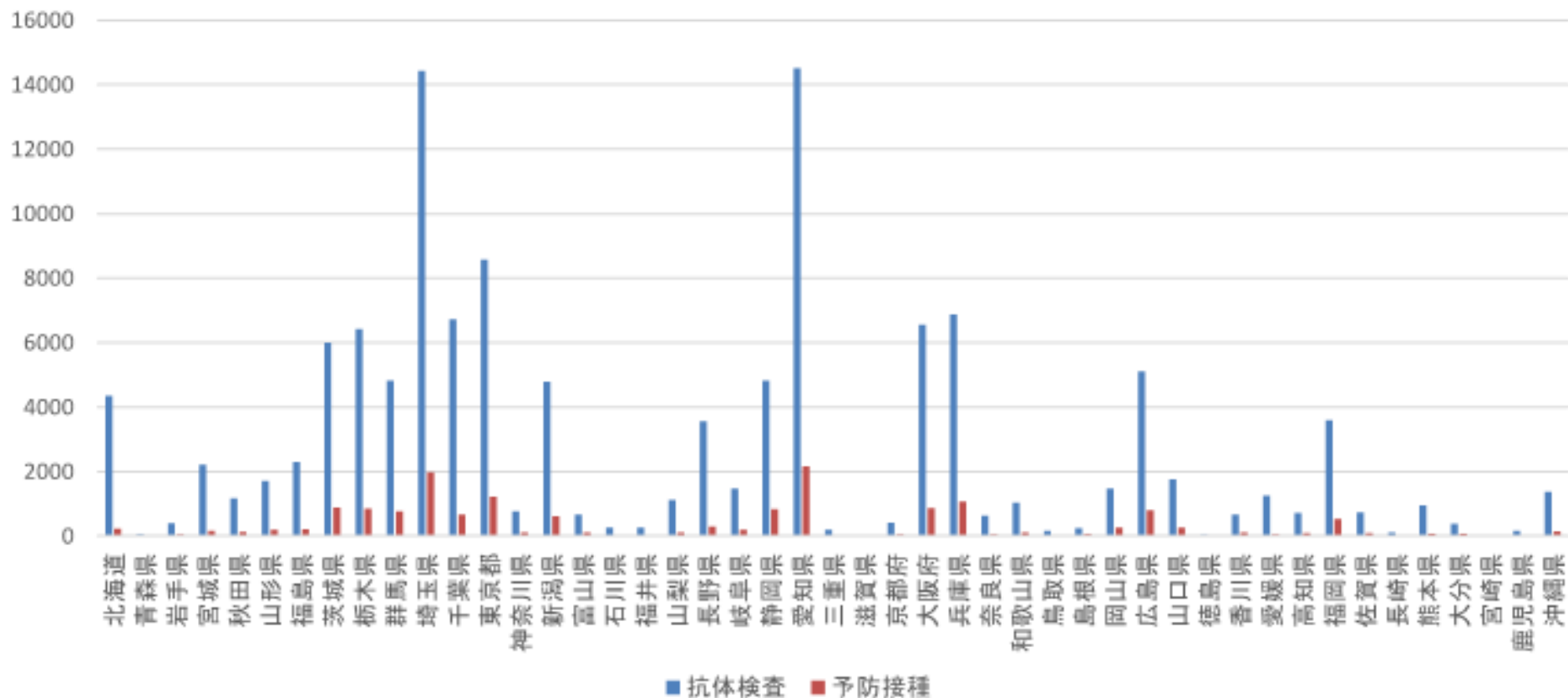


月	受診券配布 市区町村の割合
2019年 3月まで	2.3%
4月まで	19.6%
5月まで	59.9%
6月まで	83.8%
7月まで	93.6%

2019年5月に厚生労働省から全国1741市区町村へ聞き取り
(1731市区町村が回答)

【参考】 風しんに関する追加的対策の進捗状況（全国）

2019年4月、5月の抗体検査・予防接種実績



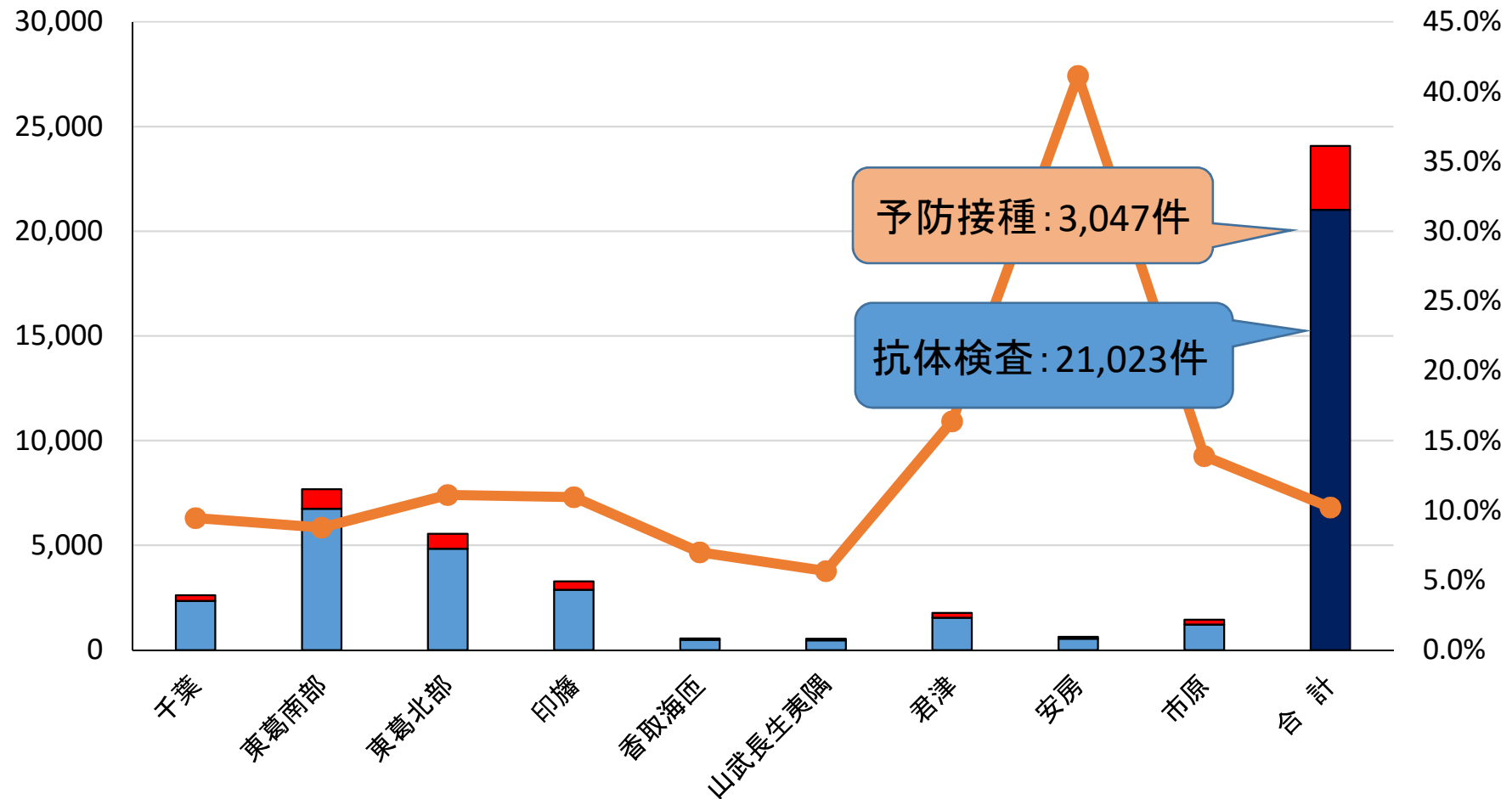
※クーポン券を利用した件数（国保連が処理した実績件数）

抗体検査	125,859件
予防接種	16,672件

出典：第33回 厚生科学審議会感染症部会（R1.7.17）¹⁴

風しんに関する追加的対策の進捗状況（千葉県）

令和元年6・7月請求分



■ 抗体検査実施件数 ■ 予防接種実施件数
 ● 抗体検査実施率

※7月までに本県内の全市町村が
 本年度の対象者にクーポン券等を配布済み。

対策② 千葉県独自の風しん対策事業について

1 千葉県風しん抗体検査

風しんの抗体検査を実施し、必要な者を予防接種の実施へつなげることにより、先天性風しん症候群の発生予防を図ることを目的とし、以下の対象者は、県委託医療機関で風しん抗体検査を無料で受験できる。

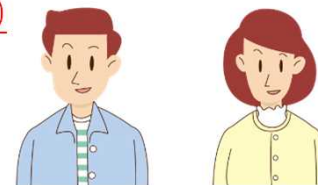
【対象者】 次の1～5の全項目の条件を満たす方。

- ① 県内市町村に居住地（千葉市・船橋市・柏市を除く）を有している
- ② 次の（1）、（2）いずれかを満たしている
 - （1）妊娠を希望する女性（19歳以下で未婚の方は保護者同意が必要）
 - （2）**（1）の配偶者※¹**又は、**風しんの抗体価の低い※²妊婦の配偶者**

※1：事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む(婚姻未届出)

※2：HI法で32倍未満、EIA（IgG）法で8.0未満

- ③ 過去に風しん抗体検査を受けたことがない
- ④ 過去に風しんの予防接種を受けたことがない
- ⑤ 過去に風しんにかかったことがない



※千葉市,船橋市,柏市は別途実施

2 千葉県風しんワクチン接種補助事業

市町村が実施する風しんワクチンに係る予防接種助成事業（定期接種を除く）を促進し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とし、市町村に対して補助する。

【補助対象者】

県及び千葉市、船橋市、柏市が実施する風しん抗体検査で抗体価が低いとされた者※

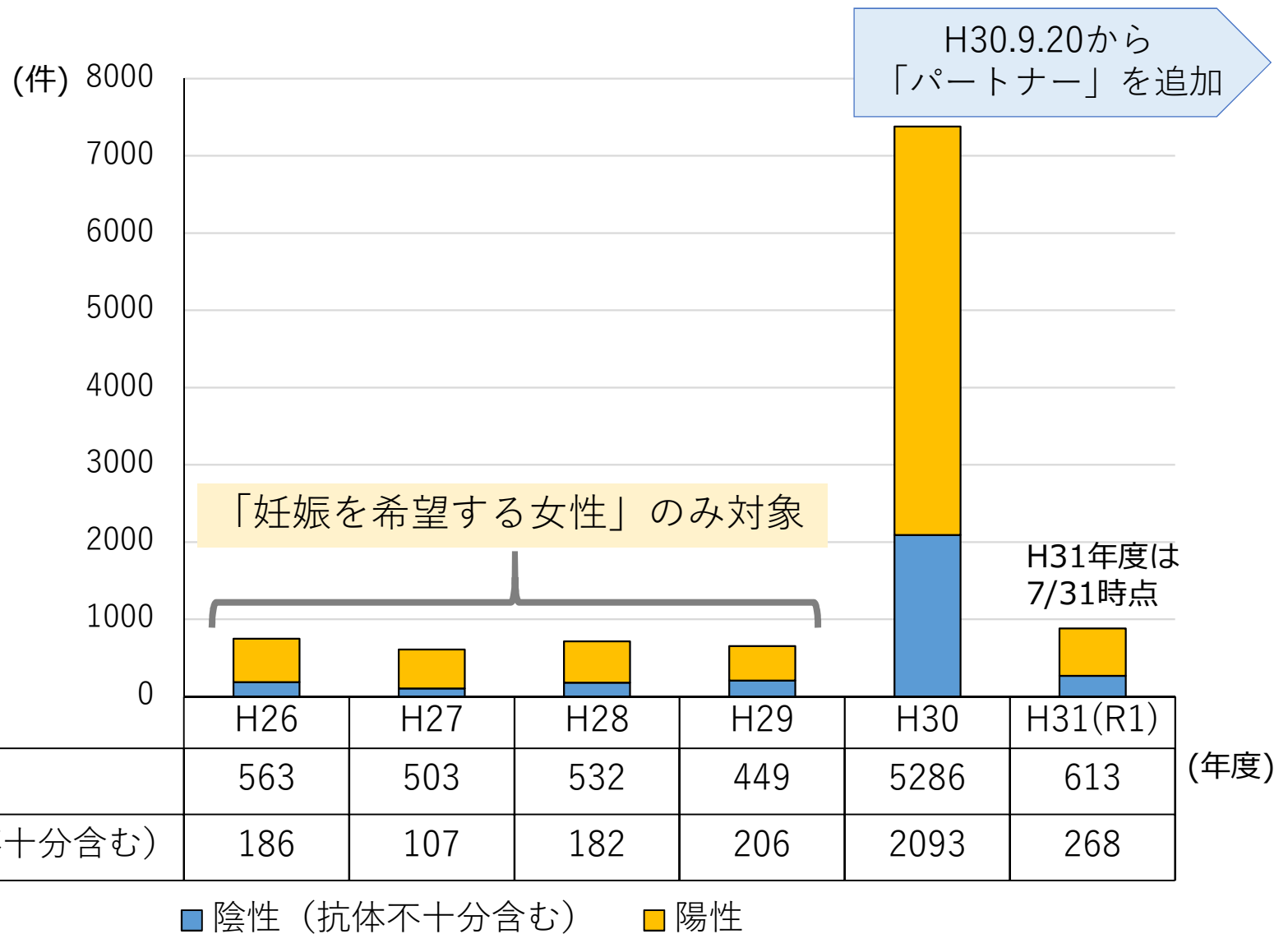
※HI法で32倍未満又はEIA(IgG)法で8.0未満の者

【補助額】 ・市町村が助成している場合：助成額の1/2

・市町村が助成していない場合：県基礎補助額(風しんワクチン 1,000円、MRワクチン1,500円)

【事業期間】 平成30年12月25日から令和2年3月31日まで

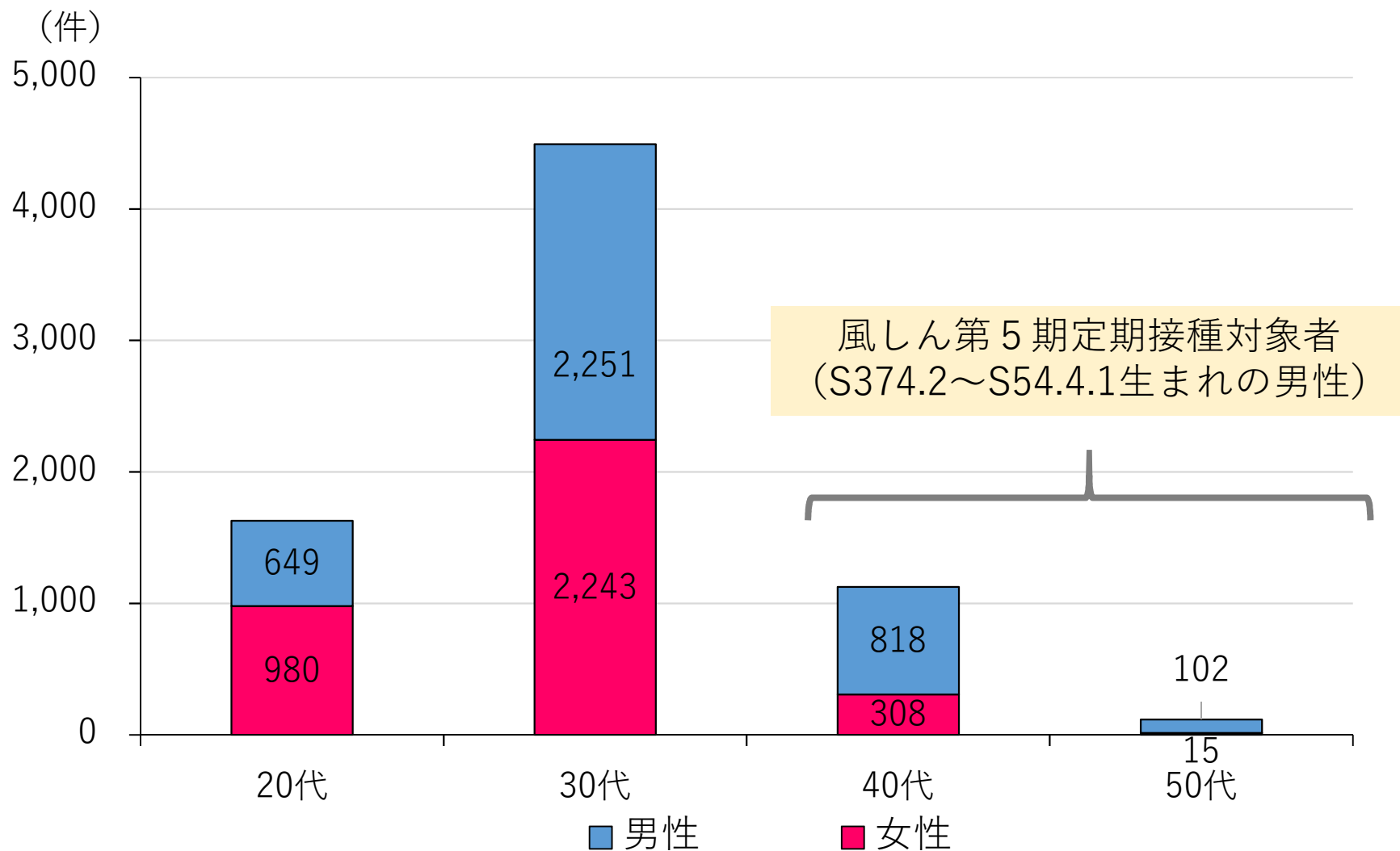
千葉県風しん抗体検査実績の推移（3市除く）



※R1.8.8現在、1,150医療機関に委託

【年代別】 風しん抗体検査実績（3市除く）

H30.4.1~H31.3.31受検分

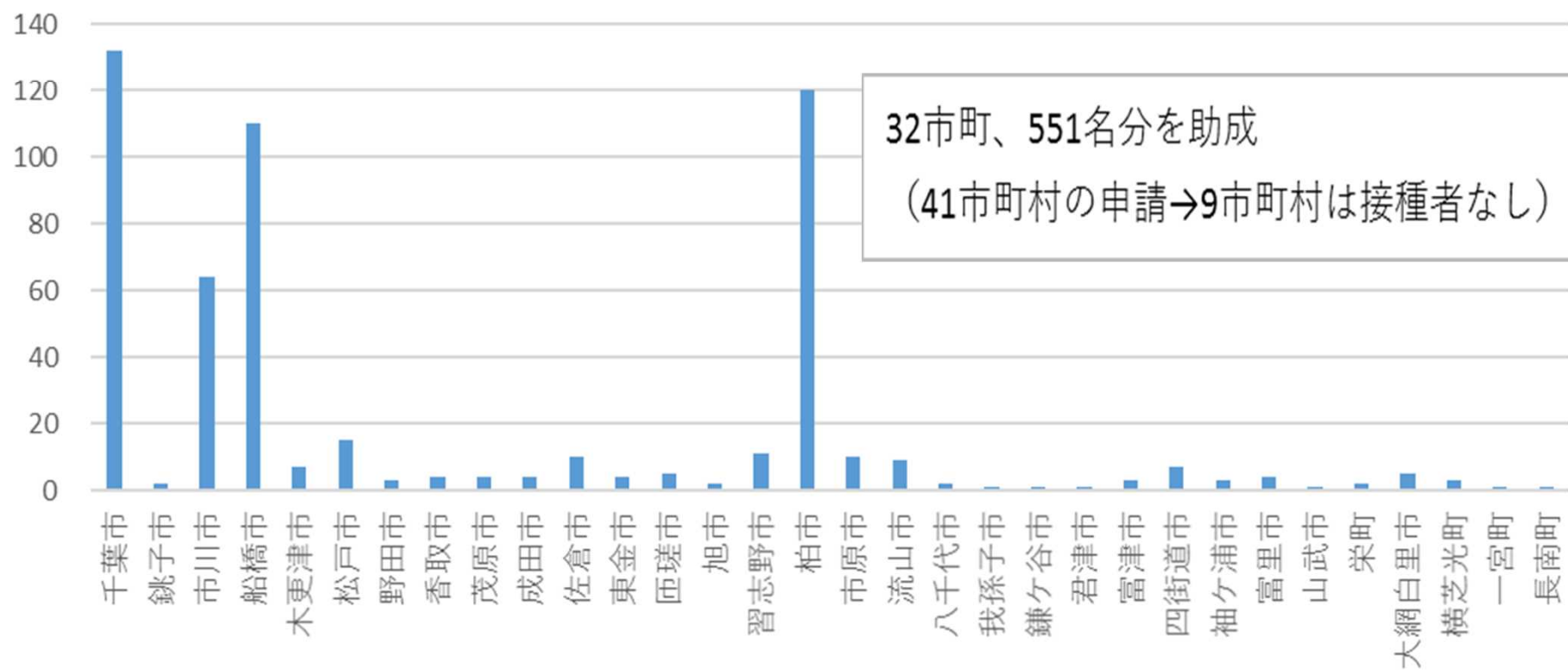


千葉県風しん抗体検査受検者のうち、風しん第5期定期接種対象者の占める割合は低いことから、引き続き抗体検査事業を継続していく。

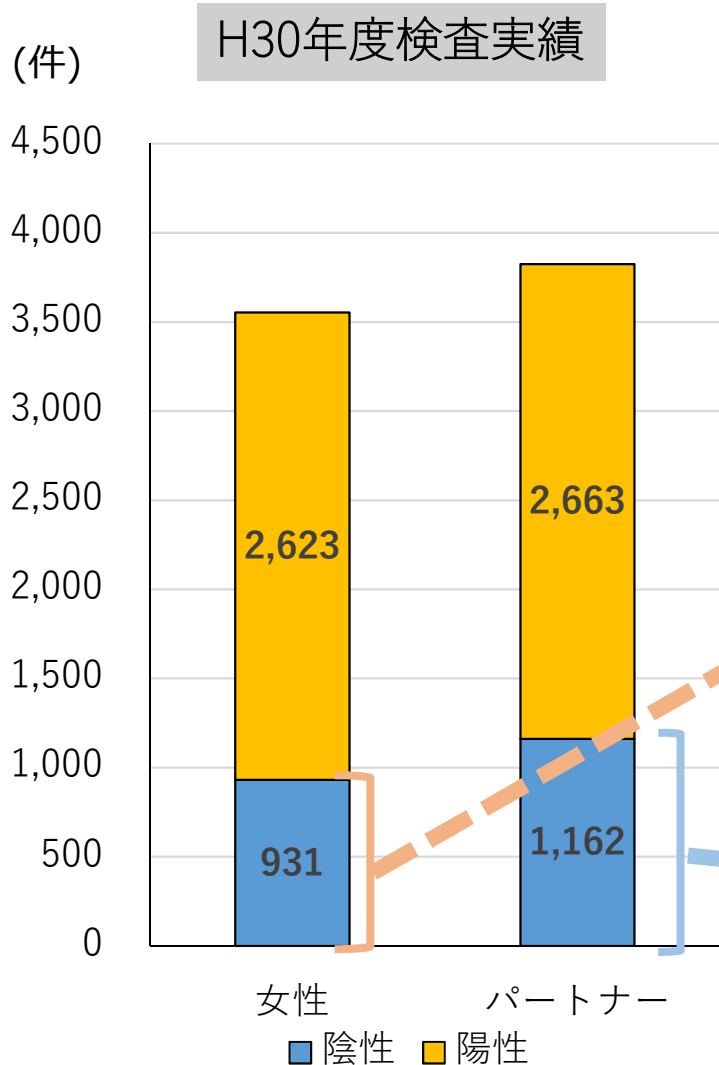
千葉県風しんワクチン接種補助事業実績

平成30年度 事業実績

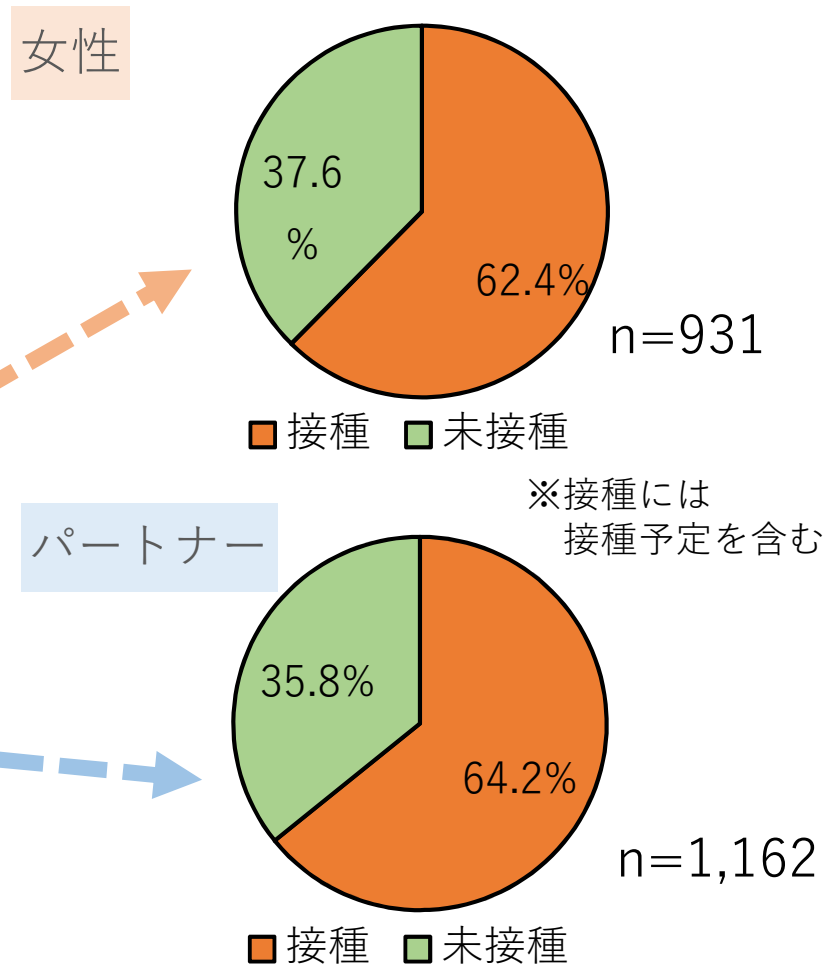
(平成30年12月25日～平成31年3月31日)



千葉県風しん抗体検査実績及びワクチン接種状況（3市除く）



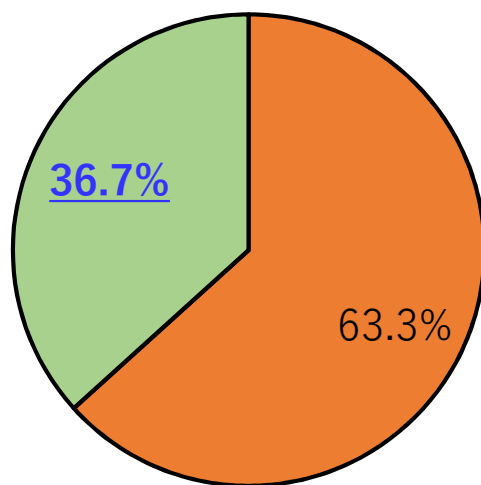
接種状況
(医療機関から県への報告時点)



抗体検査にて陰性（抗体不十分含む）と判明した方のうち、約36%の方が予防接種未接種であった。今後も、陰性（抗体不十分含む）者を予防接種に結びつけることが課題である。

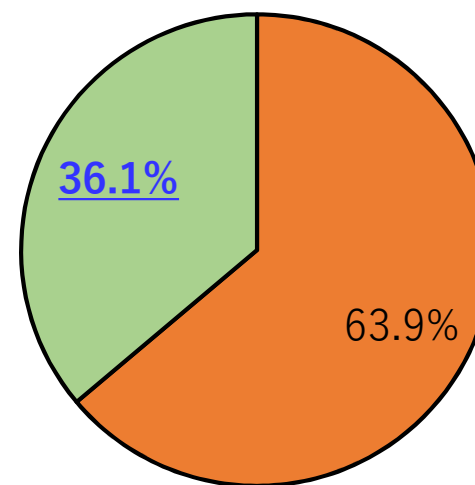
千葉県風しんワクチン接種費用助成開始前後での接種率の変化

ワクチン助成開始前
H30.4.1~H30.12.31受検分



■ 接種 ■ 未接種

ワクチン助成開始後
H31.1.1~R1.7.31受検分

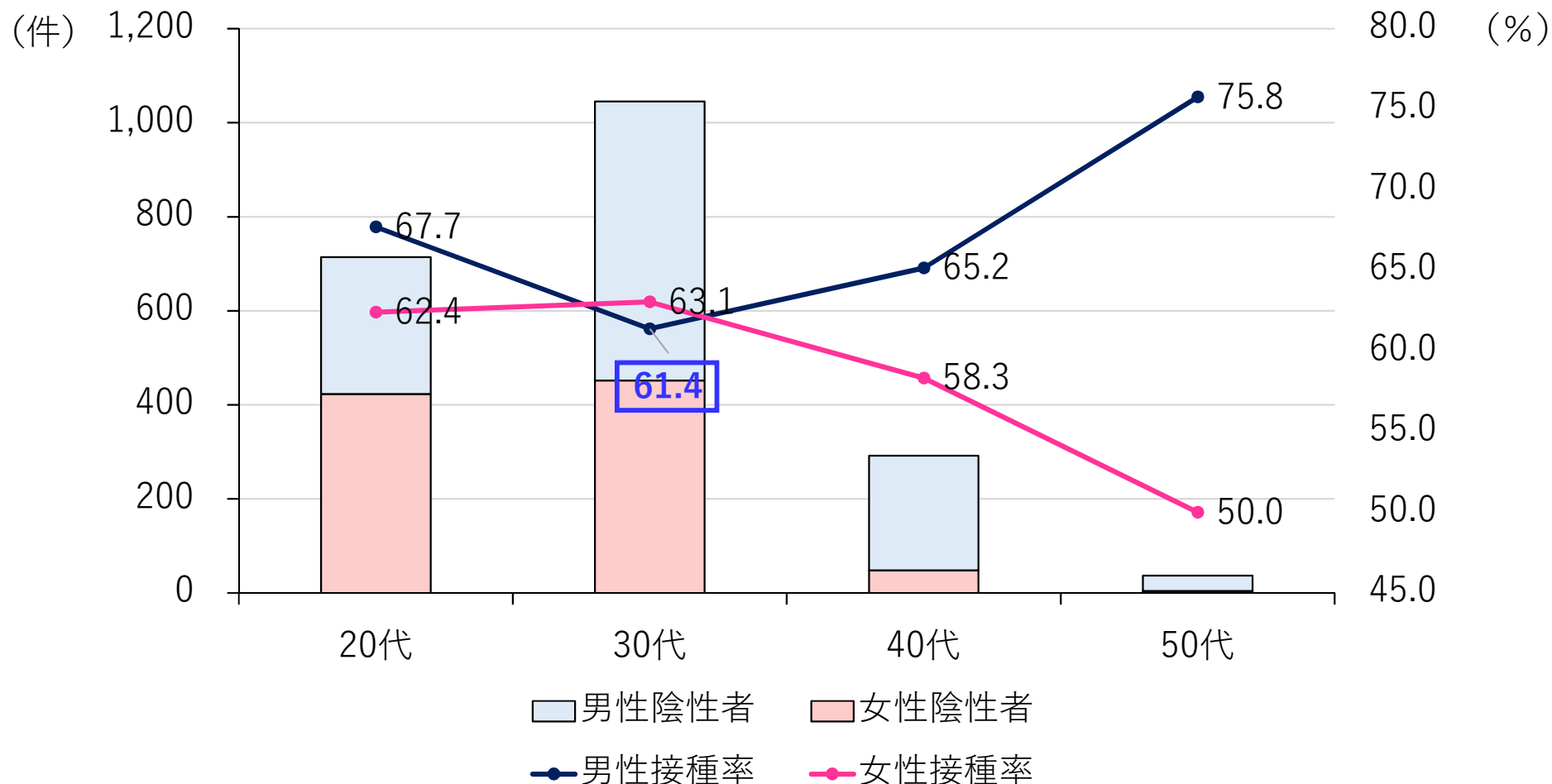


■ 接種 ■ 未接種

千葉県ワクチン接種費用助成制度開始前後で接種率に変化は認められなかった。
対象者が当該事業を認知していない可能性があるため、様々な機会において一層の周知を図る。

年代別 千葉県風しん抗体検査実績及びワクチン接種状況

H30.4.1~H31.3.31受検分

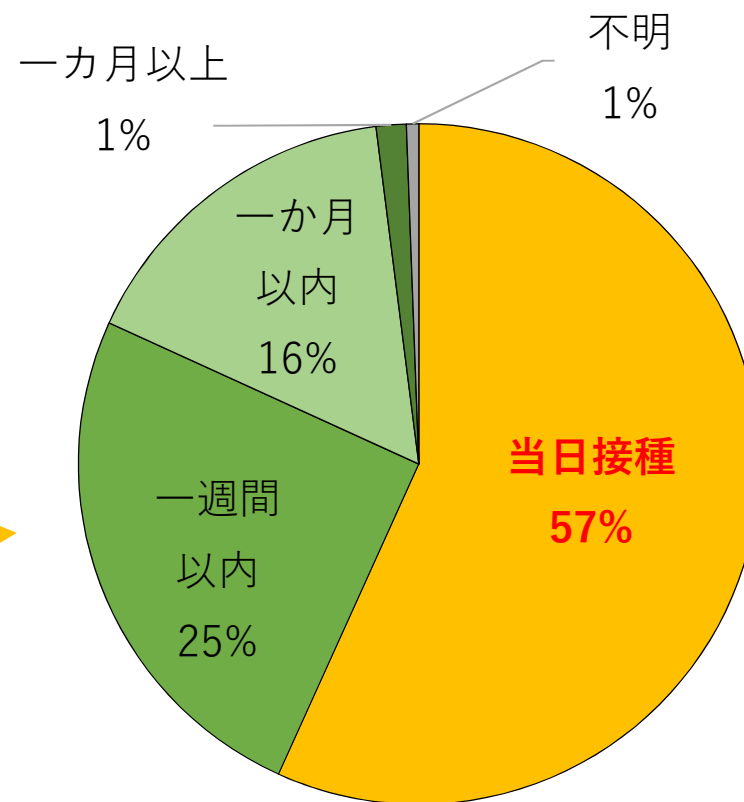
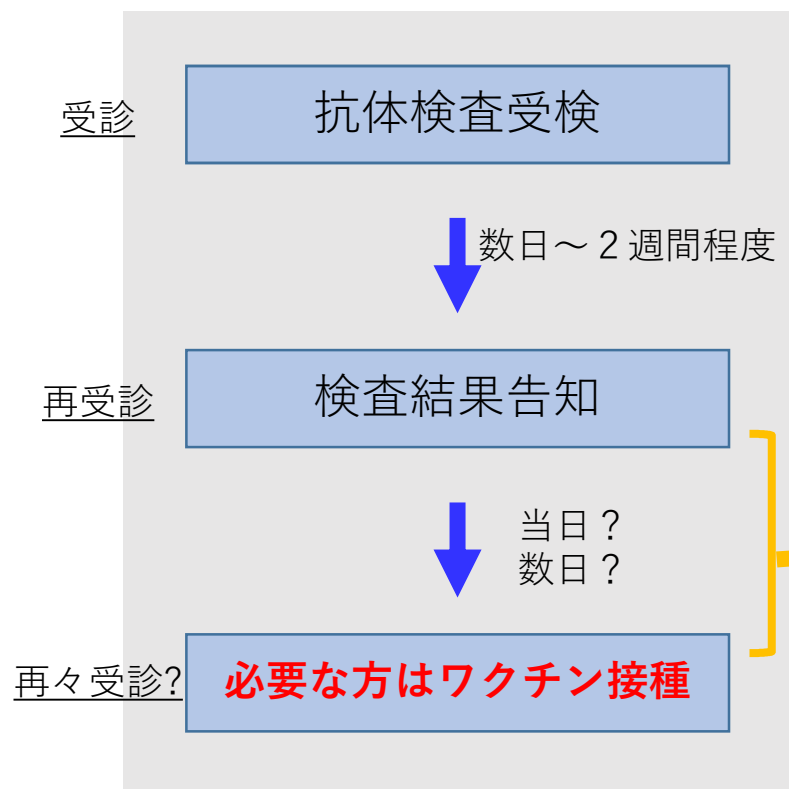


男性は受検者数の多い30代の接種率が最も低かった。
国の風しんに関する追加的対策と同様、働き盛り世代の方が接種しやすい環境の構築が重要。

抗体検査結果告知から予防接種実施までの日数

H30.4.1~H31.3.31受検分

<検査の流れ>



約半数の受検者が、結果告知当日にワクチン接種を受けられていなかった。
度重なる受診を必要とする環境が接種率低下につながっている可能性がある。
→接種率を向上させるため、受検時に、結果が陰性（不十分）であった場合、接種が推奨されることを説明する、告知日にあわせてワクチンを確保する等、告知日にワクチンを接種できる環境構築が必要。

今後の風しん対策について

患者発生時の二次感染対策

- 患者が1例でも発生した際、速やかに調査を実施し、接触者の健康観察を実施。

追加的対策※の円滑な実施に向けた支援

- 市町村等関係機関との会議等を開催。
- ワクチンの安定供給に関するワクチン流通関係者との会議を開催。
- 住民や企業に対する普及啓発の実施。

※対象者：昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

追加的対策の非対象者への対策

- 千葉県風しん抗体検査事業及び千葉県風しんワクチン接種補助事業の実施及び一層の周知。
- 抗体不十分者がワクチンを接種しやすい環境の整備

住民・関係機関への注意喚起

- ホームページ等を活用した正しい知識の普及及び注意喚起
- 妊婦等との接触機会の多い者に対する注意喚起。